

向山から こ・ん・に・ち・は！

向山図書館だより



春が近づいてきましたが、まだまだ、お部屋の中で過ごす時間が多いです。お供にする本を図書館で選びませんか。

おすすめは実用書や趣味の本です。手芸や工作をする手仕事の本、室内でできる運動の本、春夏に向けた園芸の本、など気軽に読めるものがたくさんあります。

春になると「新しいことに挑戦したい」という気分になるけれど、結局なにもやらずに終わってしまう・・・そんな経験ありませんか。冬の間にいろんな本を読み、じっくり考えてから取り組んでみてはいかがでしょうか。

3月の特集図書は、児童書が「ポカポカする本」（1月～3月）、大人向けが「数の本（仮）」（3月～5月）です。本格的ににあたかくなると、向山緑地の桜も咲き始めます。そちらも楽しみにしてください。

図書館内の机は図書館資料を使用して調査・研究される方が利用するためのものです。
自分の本で勉強する方は、2F 学習室をご利用ください。



大清水図書館

館内でもこのような掲示をして、みなさんにもお願いしています

大清水は風が強いです。そんな中、毎度のご来館ありがとうございます。さて、今回は閲覧席のお話。

図書館というと、勉強するところというイメージを持っている方が多いと思いますが、大清水図書館の閲覧席は、図書館の本を使って調べ物をしたり、学習したりするための場所です。学校の勉強等には、2階の学習室をご利用ください。市民館の窓口で受付しています。

閲覧席、新聞、雑誌の長時間の独占は、他の利用者の機会を奪うことになります。誰もが気持ちよく図書館を利用できるよう、ご協力をお願いします。

大きな図書館ではありませんから、みなさんの声もよく届きます。地元の方に「ここが私の図書館だ」と思ってもらえるような図書館になりたいと思っています。一緒に良い図書館に育てていきましょう。

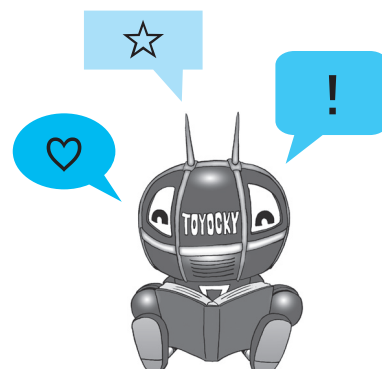
ミナクル 大清水図書館 です 大清水図書館だより

公式ブログ&ツイッター好評配信中！

豊橋市図書館では、公式ブログとツイッターで情報を配信しています。開館情報や新刊情報、資料展やイベントのお知らせを紹介しています。図書館ホームページや図書館だよりには載っていない小ネタもあります。ぜひご覧ください！

■豊橋市図書館日記～Library Diary～
<http://ameblo.jp/toyohashi-city-library/>

■ツイッター公式アカウント
<https://twitter.com/tosho07288312>



図書館の今を伝える情報紙 No. 102 LIBRARY NEWS

豊橋市図書館だより

第102号 平成28年2月1日

<編集・発行>

豊橋市中央図書館

〒441-8025 豊橋市羽根井町 48 TEL:(0532)31-3131

豊橋市向山図書館

〒440-0862 豊橋市向山大池町 20-1 TEL:(0532)62-2944

豊橋市大清水図書館

〒441-8133 豊橋市大清水町彦坂 10-7 TEL:(0532)39-5900

豊橋市図書館ホームページ

<http://www.library.toyohashi.aichi.jp/>

メールアドレス: tosho@library.toyohashi.aichi.jp



目次

P.2 【特別連載】図書館100周年記念誌番外編⑤

P.3 図書館まつりご来館ありがとうございました

P.4 向山からこ・ん・に・ち・は！／ミナクル大清水図書館です

明治の料理をつくる、たべる

豊橋市図書館では、『食道楽 豊橋版』を刊行しました。『食道楽』は、明治36（1903）年に新聞に連載された、豊橋出身の作家・村井弦斎の代表作。大食漢の主人公・大原満と料理上手なヒロイン・お登和の恋愛を軸に、様々な料理が登場します。

『食道楽 豊橋版』では、『食道楽』に登場する料理を、豊橋調理製菓専門学校との協力のもと再現。弦斎の人物像とともに、家庭で気軽に作れるようにアレンジしたレシピを紹介しています。



食道楽 豊橋版 ～グルメ小説の再現レシピ～

好評
発売中

【監修】鈴木良昌さん（豊橋調理製菓専門学校 校長）

【協力】豊橋調理製菓専門学校、博物館 明治村

【発行】豊橋市図書館

【価格】800円（税込）【体裁】A5判・カラー 100頁

【販売場所】中央図書館、市役所じょうほうひろば（東館1階）、豊川堂（本支店）、精文館書店（本支店）、高英堂書店（松葉町二丁目）、耕文堂（広小路三丁目）※書店での販売は期間限定



豊橋市図書館 100 周年記念誌の刊行を記念した特別連載です。戦後の図書館は新しい図書館法の下で、読書普及活動に取り組みました。

メシの種・仕事に役立つ図書館

市民の暮らしの中に、本とふれあう習慣をひろげ、図書館が自己学習に役立つものであることを知ってもらう一方、社会生活を営む上で、特に職業・仕事の中で図書館を役立ててほしいという願いから、「メシの種」になる図書館をも目指した。

昭和35(1960)年以降、次のようにいくつかの改変を実施した。

- ・図書購入の分野の見直し… 図書購入費漸増にともない年間購入冊が3千冊を確保できるようになった。従来手薄だった科学・工学・産業分野に力点を置く。※昭和37年は180万円。昭和39年は200万円を超えた。
- ・産業資料の充実・整備… 特許公報の充実、JIS 規格の購入をはじめ各界社史の収集、全国の電話帳を収集。
- ・各分野の充実… 基本図書・参考図書は逃がさない。
- ・郷土資料の収集・整備… 従来一般書に混在していた郷土資料を独立させ、「愛知県郷土資料分類表」に基づいて再整理、合理化した。 ※「愛知県郷土資料分類表」が作成されたことに対応した改善。作成委員会をまとめたのは当時の豊橋市立図書館長・小林岩彦氏。
- ・郷土新聞の保存… 国立国会図書館の協力を得てマイクロ化。昭和41(1966)年～昭和55(1980)年にかけて全15紙を完了した。
- ・参考業務(レファレンスサービス)の開始… 市民の各種調査や問い合わせを支援したり手伝ったり等の業務で、昭和38(1963)年から正式業務としてはじめた。
- ・複写サービスの開始… 昭和39(1964)年から有料。

奉仕を支える館内体制と図書整理の合理化

積極的に図書館奉仕をすすめたこの時代、職員数はどう変わったかを見ると、専任館長就任時は9人だったが、昭和31(1956)年退任時には14人、更に創立50周年を迎えた昭和37(1962)年には16人となった。この間に専門職員としての講習派遣も毎年1人、司書資格を持つ職員は増えた。しかし残念なことに市の人事異動は資格の有無を無視して行われるため、有資格職員の数がそのまま増える

ということではなかった。またこの間、事務組織が改編され2つの係が設けられた。各々の職員が分担する仕事明確になり、責任を持って仕事に立ち向かう体制が整った。

そして、奉仕活動の基盤となる図書の公開方式、図書の配列・分類、目録の整備が着々とすすめられていった。

図書公開の方式 …閉架と開架…

図書館法以前、主流は閉架式だった。閉架式というのは「保存」という役割を重視した図書管理の方法で、利用者にとって不便であった。本はすべて書庫に納められており、利用者は読みたい本を目録カードによって探し、それを閲覧票に書きこんで係員に提出する。係員は請求された本を書庫から取り出し利用者に貸すという方式である。したがって利用者と係員のやりとりは、昔の銀行や駅の窓口と同じような関係であった。

一方、開架式というのは、現在の図書館や本屋の店頭のように、利用者は直接本を手にとって選び出し、館内で読む時は近くの座席で、家に借り出す時にはカウンターで手続きをする方式である。

豊橋の図書館では昭和27(1952)年途中までは閉架式であった(一部半開架※)。しかし、その年開架への準備を終えたので、夏以降全館開架に改めた。1階の旧書庫入口近くに案内と相談を兼ねたカウンターを置いて利用者の便宜をはかった。※半開架…金網越しに背表紙が見える棚。

全館開架は利用者にとっては確かに便利であった反面、当時の蔵書5万5千冊の中から自分の読みたい本を探すのもこれまた大変なことであった。一方、資料を保存するという図書館のもうひとつの役割から見ても、特に古い新聞や和装本、そして利用の少ない専門書まで公開することの是非もあって、反省を含めた再検討の結果、2年後の昭和29(1954)年に一部を閉架に戻すことにした。このとき、閉架本は旧書庫に収め、2階全体を開架とし、案内・相談に加えて、閉架に戻した本の出納を担当するカウンターを、2階から1階へ降りる階段口に移した。

その後昭和33(1958)年には郷土資料や産業コーナー充実のため、2階開架室を改装し、その中央にサービスカウンターを移した。その結果3階講堂の一般利用は中止され、図書館の閲覧室・学習室として使うことになった。

【次回】図書の分類切り替え

図書館まつり ご来館ありがとうございました

昨年12月13日に中央図書館で開催された「第19回 図書館まつり」。多くのみなさんのご来館ありがとうございました。当日の様子をご紹介します。



まちなかPRイベントとして開催された、知的書評合戦ビブリオバトル。図書館まつり初の試みです。たくさんの観衆が集まり、バトラーの高校生たちの緊張も高まります。チャンプ本にはどの本が選ばれたのでしょうか？

ビブリオバトル

バトラーである学生さんが1冊目の本を緊張しながら紹介しています。最後にチャンプ本をみんなに紹介して、ビブリオバトル終了。図書館には、こんなにも面白い本があったのか…と、気づかされた素敵な時間でした。出場してくれた高校生のみなさん、勉強や部活動で忙しい中、参加ありがとうございました。



宮西達也さん 講演会



子どもたちに人気の絵本作家「宮西達也さん講演会」には、168人の方が集まりました。

絵本「おまえうまそうだな」のティラノサウルスがじどうしつに登場して大賑わい。子どもたちは、びっくりしながらも近寄って触ったり、話しかけたりしていました。

講演後のサイン会では、長蛇の列にもかかわらず、宮西さんは笑顔で応じてくださっていました。



図書館探検隊

毎年親子連れに人気のイベント「図書館探検隊」。普段は見ることのできない、図書館の裏側も探検しました。書庫の中での本探しゲームは、みんな夢中で楽しんでいました。